

令和3年度前期（7月）学校評価アンケート集計結果

京都市立峰ヶ岡中学校

A: そう思う・大体そう思う

B: あまりそう思わない・そう思わない

		割合(%)						割合(%)	
保護者アンケート(327名/576名...約57%)		A	B					A	B
1	こどもは学校に行くのを楽しみにしている	87.5	12.5			楽しく学校生活を送れていますか?		93.1	6.9
2	こどもは授業を受けることを楽しみにしている	74.3	25.7			学校行事や学級活動に積極的に参加できていますか?		88.7	11.3
3	生徒指導上の問題について、学校は適切に対応している	89.3	10.7			学校のきまりを守って、学校生活を送っていますか?		97.4	2.6
4	こどもは積極的に部活動や生徒会委員会や学級の係活動に参加している	85.9	14.1			部活動、生徒会委員会や学級の係活動に積極的に取り組んでいますか?		89.6	10.4
5	こどもは授業をわかると言っている	61.8	38.2			授業の内容は理解できていますか?		79.1	20.9
6	こどもは家庭学習に取り組んでいる	60.2	39.8			家で予習・復習・宿題に取り組んでいますか?		65.2	34.8
7	こどもは自分の意見を進んで言える	69.1	30.9			自分の思いや考えを進んで発表していますか?		52.8	47.2
8	こどもは進んで読書をする習慣が身についている	33.0	67.0			進んで読書をしていますか?		58.1	41.9
9	バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠が定着するように働きかけている	78.0	22.0			バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠を心がけていますか?		78.9	21.1
10	こどもは学校での出来事や学んだこと等を家で話をする	78.3	21.7			学校での出来事や学んだことを、家で話していますか?		79.1	20.9
11	学校はこどものことについて相談に適切に対応している	83.5	16.5			先生はさまざまな相談に応じてくれますか?		90.0	10.0
12	学校（学年・学級）の取り組みや状況を家庭にお知らせしている	80.7	19.3			学校からの連絡（プリント等）は、必ず保護者に伝えてありますか?		85.0	15.0

○ 今回より二次元コードでも回答可能としたアンケート方法で行いました。保護者57%の回答率は、兄弟姉妹それぞれへの回答ではなく、家庭数になってしまったためです。後期からは、それぞれのお子達についてご回答いただくよう周知してまいります。ご協力ありがとうございます。

○ 学校生活の項目について、生徒と保護者への質問の文言が統一されていない部分があり比較しにくいものがありましたが、生徒は、概ね、学校生活全般で学校のきまりを守りながら、楽しく過ごしていることが見て取れます。

○ 学習に関する項目(5・6・7)で、「あまりそう思わない・そう思わない」が30～40%と高く、生徒・保護者の回答の開きも大きくなっています。項目5では、生徒は理解しているとしても、その結果として定期テストや学期末の成績から、保護者の方はわかっていないと判断されているように感じます。生徒の得手不得手はありますが、授業で「分かる」ということを目指して教員も「工夫した授業」等、授業改善の必要性を感じました。

項目6の家庭学習では、生徒は宿題をやっているつもり、保護者の方はもっと家庭学習をしてほしいと思っておられることがわかります。また、中学校では小学校のように毎日の課題ではなく、提出期限を決めての課題が多いので、家庭での日々の学習が見えてこないかもしれません。しかしながら、家庭で学習に向かう姿勢は、学ぶ喜びや向上心が必要になってきます。内的な動機付けを保護者の方とも連携をとって推し進める必要を感じます。

項目7については、質問が生徒は授業中を、保護者は家庭や日常でのお子達の様子をイメージするような内容になっており、そのまま比較はできませんが、自分の思いや意見を伝えることとともに、相手の意見を聴き自身の考えを深められるような手立てが授業等で展開できるよう努めてまいります。

○ 学校では朝読書の時間を設定していますが、読書の楽しさを感じてもらうまでには至っていません。学校だけでなく家庭でも本を手にとることやお子達と読書について話題にいただけたらありがたいです。

○ 項目11の一人一人への対応、項目12の家庭への情報発信について、生徒・保護者の回答に開きがありました。生徒は学校ですぐに教職員と接するため相談していると感じてくれているようです。ただ、教職員には言いにくいことも保護者に相談していたり、学校での様子を十分にお話しできる機会が少なく、信頼関係が不十分であると見取れます。生徒の成長には保護者との連携が不可欠です。今後、学校の様子をホームページ等でも、お知らせしていくことと合わせて、しっかりと連携をとっていきたいと思います。

A: そう思う・大体そう思う

B: あまりそう思わない・そう思わない

		割合(%)						割合(%)	
		A	B					A	B
保護者アンケート(309名/576名...約54%)						生徒アンケート(477名/576名...約83%)			
1	こどもは学校に行くのを楽しみにしている	83.8	16.2			94.3	5.7	楽しく学校生活を送れていますか？	
2	こどもは授業を受けることを楽しみにしている	70.6	29.4			91.6	8.4	学校行事や学級活動に積極的に参加できていますか？	
3	こどもは学校の決まりを守って、学校生活を送っている	95.8	4.2			96.6	3.4	学校のきまりを守って、学校生活を送っていますか？	
4	こどもは積極的に部活動や生徒会委員会や学級の係活動に参加している	80.6	19.4			88.3	11.7	部活動、生徒会委員会や学級の係活動に積極的に取り組んでいますか？	
5	こどもは授業をわかると言っている	62.5	37.5			81.3	18.7	授業の内容は理解できていますか？	
6	こどもは家庭学習に取り組んでいる	58.3	41.7			63.9	36.1	家で予習・復習・宿題に取り組んでいますか？	
7	こどもは自分の意見を進んで言える	59.2	40.8			48.6	51.4	自分の思いや考えを進んで発表していますか？	
8	こどもは進んで読書をする習慣が身についている	32.7	67.3			49.5	50.5	進んで読書をしていますか？	
9	バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠が定着するように働きかけている	73.8	26.2			78.4	21.6	バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠を心がけていますか？	
10	こどもは学校での出来事や学んだこと等を家で話をする	72.5	27.5			76.1	23.9	学校での出来事や学んだことを、家で話していますか？	
11	学校はこどものことについて相談に適切に対応している	84.1	15.9			88.7	11.3	先生はさまざまな相談に応じてくれますか？	
12	学校（学年・学級）の取り組みや状況を家庭にお知らせしている	83.5	16.5			81.8	18.2	学校からの連絡（プリント等）は、必ず保護者に伝えてありますか？	

○ 前回は引き続き、2次元バーコードを使った回答も併用し、保護者より309件のご回答いただきました。

○ 生徒の活躍の場である行事や参観等を中止・実施方法の変更で、学校にお越しいただける機会が少なくなったため、保護者の回答で減少している項目が多数ありました。半面、生徒の回答では「学校や学級、授業の楽しさ(1)」「学級の楽しさ(2)」等の学校生活全般については、増加という結果になりました。

○ 「授業の楽しさ(5)」については、生徒・保護者とも増加しています。今後も指導方法や教材等を工夫して、「わかる授業」を目指して取り組みたいと思います。

○ その他の「学習に関する質問(6)(7)」について、家庭学習では懇談等で保護者からも「全然しない」とお聞きすることがあります。宿題や課題を出していても、塾や習い事で取り組む時間がないのか、時間があるにも関わらず時間の使い方をうまく調整できていないのかは、生徒自身に振り返ってもらうとともに、家庭学習の意義や取り組み方の紹介等、教員も一緒に考えていく必要があると感じます。「学び」は教科の学習だけではありません。新しい知識や考え方に触れることは生涯にわたって続くものと考えたときに、大切だと感じています。

○ 読書については、依然として低い結果になっています。生徒が読書をするしないだけでなく、家庭においてもどれだけ読書ができる環境であるかを（保護者も読書をする習慣がある、家庭に読む本がある等）考えていくことも大切かと思えます。

○ 「担任、学年の子どもへの関りの一人一人への対応(11)」や「家庭への情報発信(12)」については、保護者の回答が増加しています。先にも挙げましたが、学校へお越しいただく機会が少なくなった分、ホームページ等で情報発信を丁寧に行っていきたいと思えます。子どもたちを間において、一緒に成長を見守りながら協力していただくためにも、学校の取組を知っていただき、関心を持っていただけるよう心がけていきたいと思えます。